

こども新聞 週刊がほピョンプレス

毎週日曜発行
2023 5/7



河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

みんな 子ども だった!?

37

みんなは住んでる町が昔、どんなだったか知ってる？ 足元の地面や通りに古い時代の跡が残っているよ。そんな歴史を歩きながらひもとく「まち歩き」の達人は、どんな子どもだったのかな。

◇

小学校低学年は引っ込み思案でおとなしい子でした。新聞をちぎって並べるのが好きでした。4年生で社会科、特に地図が大好きになりました。「この町は海が近い」「田んぼ、畑…。鉄道だ」と一日中見ても飽きない。

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

世界のぞける地図大好き

い。小6の兄や親のを借り、近所から世界まで見ました。2次元の紙の上に地形や町のデータがぎゅっと詰まってる。違う世界をのぞけるのが魅力でした。絵を描くのも好きで、図工の成績はずっと「5」でした。

小学4年の時の愛読書は親の週刊誌。新しい情報が載って面白かった。先生に「ふんは何を読むの？」と聞かれ、「週刊誌」と答えてびっくりされました。



木村浩二さん(71歳・歴史家、まち歩き達人)

きむら・こうじ 塩釜市出身。仙台市教委で郡山遺跡(こおりやまいせき)の国史跡(しせき)指定などに関わり、地底の森ミュージアム学芸室長などを務(つと)めた。宮城学院女子大非常勤講師(ひじょうきんこうし)。「仙台段差崖会(だんさがっかい)」主宰(しゅさい)。仙台市在住(ざいじゅう)。

仙台三高の担任が地理担当で、巡検という野外授業が面白くて地理が好きになりました。広瀬川流域や竜ノ口溪谷、仙台城の石垣の石を切り



出した国見などに出かけ、地形や町の成り立ちを学ぶ楽しさを知りました。

地理を学ぶはずの東北学院大でなぜか考古学サークルへ。なじめないまま参加した1年の夏合宿の発掘調査で大穴が見つかりました。高校で水泳部だったので、水着を持っていきましました。先輩に「着替えて中に入れ」と命じられ、底に降りて

泥を探ると、土器の破片や円筒埴輪がごろごろ出て感激しました。

合宿後も出土品の復元や図面描きで「器用だな」と先輩にほめられ、仕事を任せられるように。新聞紙のパズル遊びも絵が好きなのも生かせ、考古学にのめり込みました。

仙台市地底の森ミュージアムの仕事に関わる中、地域ボランティアの歴史勉強会でまち歩きをするように。2015年のNHK番組「ブラタモリ」出演以来「ブラキムラ」と呼ばれ、講師依頼が増えました。

仙台は江戸時代とほぼ同じ町割で、地図を見ながら歩くと古い町が重なって見えてきます。みなさんにはぜひ外に出て町を歩いてほしい。気付いた良さを、次のまちづくりに生かしてもらえたらうれしいです。

今週の注目ニュース

◇12日(金) 民生委員・児童委員の日
安全な地域をつくるボランティアを民生委員と言います。子どもや子育ての相談に乗る児童委員でもあります。100年以上の活動の歴史があって、登下校時の見守りやあいさつ運動などにも取り組んでいるんだ。

みんなの紙面

- 2面 サイエンス
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 防災と英語 いっぺんに学ぼう